

《学校の教育目標》 地域を愛し、未来をつくるために学ぶ子どもの育成

《本年度 学校の重点目標》 自分の考えを表現する子どもの育成

目的を達成するために基礎的な知識や技能を身に付けることができる。【つくる力】

自分の考えを新しい知識と組み合わせながら伝えることができる。【つなぐ力】

他者とのよりよい関係性をつくるためのコミュニケーションができる。【つらぬく力】

学びをつなぐ授業

- ①学力向上プラン「視点2」に記載
- ②学習過程において、個人の考えを表現する活動の充実を図る。(毎時間)
- ③教育ICTを活用した表現活動を行う。(週3回以上)
【成果指標】週に3回以上ICTを活用した活動を行っているとする児童80%以上
- ④CLIL的アプローチの実践を行い、英語で簡単なプレゼンテーションを行ったり、質問に対して、その回答と関連情報(プラス1文)を付け加えたりするコミュニケーション活動を行う。(外国語活動・外国語科 毎時間)

笑顔の先生

- ①学力向上プラン「視点4」に記載
 - ②交換授業、教科担任制を学期に1回以上試行することで、教師が児童と向き合う時間を確保する。
(日常的に実施)
- 【成果指標】「先生は、よさを認めてくれる」と答える児童の割合85%以上。

協働する学校・家庭・地域

- ①地域学校協議会プラン「提言①」参照
- ②地域学校協議会プラン「提言②」参照
- ③学力向上プラン「視点4」に記載

楽しい学校

- ①体調管理アプリを活用し、児童の健康管理を行うとともに、課題のある児童に対しては「校内いじめ問題・不登校対策委員会」で具体的な対応策を協議し、チームとして指導、支援を行う。(月1回以上)
【成果指標】不登校児童数0人、いじめの認知件数10%増加
- ②学年集団による生活習慣の具体的見直しを図るとともに、児童の自治的な取組を行う。(月1回)
- ③よりよい仲間づくりに重点を置いた各委員会活動を開催し、その取組の「見える化」を行う。(年間1回以上)

【体力向上】

- ①体育の授業で、柔軟性と持久力を高める運動を行う。(毎時間)
- ②京町チャレンジタイム(縄跳び・長縄跳び)
(「1校1取組」運動)
・体力アップシート活用率:目標 100%
・スポコン広場登録学級数:目標5学級

【あいさつ・そうじ・自学自習】

- ①児童会による掃除徹底週間の実施(学期1回)
- ②掃除の模範例の掲示と定期的な掃除区域ごとの異学年交流を実施する。(学期1回以上)
- ③学年に応じた「家庭学習がんばりカード」を作成し、保護者との連携を図る。(学期1回以上)

基盤として大切にすること(本年度の重点)

- 【人権・同和教育】共感的人間関係を育成する授業づくりを行う。
- 【特別支援教育】できること、できつつあること、できないことを踏まえた授業づくりを行う。
- 【キャリア教育】自らの学習を振り返るためのキャリアパスポートの効果的な活用を行う。